

有機農産物
マッチングフェア
2014

あしたの有機農業を話そう。

有機農業セミナー、パネルディスカッション参加のご案内



《有機農業セミナー》

「これからの有機農業 ～わたしの歩みと現在そして展望」

講師 田邊真三

13:00～14:30

《有機農業新規就農者パネルディスカッション》

「どうする？ 有機農産物の流通と販売」

15:30～16:30

聴講予約受付／9月19日(金)まで

ホームページ (<http://www.yuki-matching2014.com>) から
参加申込書をダウンロードし、FAXでお申し込みください。

当日参加もできます!*

参加無料

9.27(土)

広島県立広島産業会館本館2F

広島県広島市南区比治山本町12-18

www.yuki-matching2014.com

*定員に達し次第、入場をお断りする場合がありますので予めご了承ください。

有機農産物価値理解促進事業 有機農産物マッチングフェア 2014

主催：有機農産物価値理解促進協議会 後援：広島県、広島信用金庫

農林水産省 有機農産物価値理解促進事業は、消費者の食の安全・安心に対する関心が一層高まっていることや、新規就農者の多くが有機農業を目指し、有機農業の規模拡大が進んでいることなど、有機農業をめぐる情勢が大きく変化していることから実需者等の方々に有機農産物のもつ多様な価値を理解していただき、新規生産者を含む有機農業者の販路確保・拡大を図る支援事業です。今年度は、広島・金沢・東京の3会場で当フェアを実施し、広島では初の開催です。当日は商談会をメインに、有機野菜マルシェ(9:00~12:00)、併せてセミナー、パネルディスカッションを開催します。有機農業の関係者、興味をお持ちの方に広く参加を呼びかけています。どうぞ、気軽にお越しください。

《有機農業セミナー》

「これからの有機農業 ~わたしの歩みと現在そして展望」

13:00~14:30

講師：田邊真三

TANABE FARM・代表
(株)ローソンファーム広島神石高原町代表取締役社長
広島県有機農業研究会流通部長
かたつむりの会会長



中国地域における有機農家の若手ホープである田邊真三さんが、有機農業を学び、実践してきた20年間の実体験と有機農産物の流通拡大に賭ける万感の思いを熱意こめて静かに語ります。①有機農業を学ぶ：父、愛農学園そしてスイスに、②2つの経営体と産消提携組織のリーダー、③グループ出荷組織「オーガニック広島」の設立へ、④有機農産物マーケティングの今日の条件とは、⑤次世代に向けた有機農産物にこそ未来がある。有機農産物の流通・販売に関心のある方は必聴ください。また、講演の終了後は質疑応答の時間も設けています。

《有機農業新規就農者パネルディスカッション》

「どうする? 有機農産物の流通と販売」

15:30~16:30

新規就農者にとって、生産した農産物をどう販売するかは、収量と品質に関わる栽培技術以上に就農当初から絶えず問題になります。生産は人と環境との関係ですが、販売は人と人との関係がより重要です。有機農業の新規就農者はどのような問題点を抱え、どのような要望を持っているのか? 就農2、3年目の若い世代を中心に、有機農産物の流通と販売について熱く話しあいます。



司会●福田裕充(ふくだ・ひろみつ)
有機農業歴20数年。2008年に広島県廿日市市吉和に設立された農業法人(株)よしわ有機農園の農場長を務め、主に野菜(約3ha)を近隣の量販店、有機専門スーパー等に出荷。2011年から自農場で一般の人を対象にした有機農業入門塾を主宰。2012年から島根県吉賀町でターン就農者や有機栽培転換農家を対象にした有機農業塾の講師を務める。広島県有機農業研究会特別運営委員。日本有機農業研究会中国ブロック幹事。



河川貴哉(かわぐち・たかや)
31歳。島根県吉賀町へ1ターン4年目。子供の頃から祖父母の農作業の手伝いをしていたことから自然に農業にひかれ移住。町内の農家で1年間の産産体験を経て、2014年から本格的に農業に従事。前職の青果輸送のつながりを活かして、相対での販売先を確保している。現在は主にピーマン、ニンジン(計25a)、菌床椎茸(2a)、水稲(1.5ha)等を栽培し、グリーンコープへの出荷も行う。広島県出身。妻と子供2人の4人暮らし。



河野雅俊(かわの・まさとし)
33歳。島根県吉賀町へ1ターン8年目。伯父が専業農家で子供の頃手伝いをしていたことからいつか農業をやりたいと思っており、2012年から本格的に農業に従事。主にチンゲンサイ、シシトウ(計7a)、菌床椎茸(1.4a)、などを栽培し、グリーンコープや道の駅への出荷を行っている。原木椎茸の栽培もはじめ、林産物と農業の複合経営を目指す。広島県出身。妻と子供2人の4人暮らし。



新谷昌史(しんたに・まさし)
36歳。2011年にIT営業マンから有機農業の世界へ転身。2年間の研修を経て、2013年に東広島市志和町で、自分自身が「食べたい!!」と思えるような安心でおいしい野菜作りをモットーに、農園「どじょうや」をスタート。

屋号は「土壌」の微生物など自然の地力を最大限に活かした「土づくり」を大切にしたいという想いを込めた。土ものを柱に多品目の野菜(55ha)を栽培。個人宅配、飲食店、百貨店・こだわり食品スーパー等に販売。会社勤めの妻と2人暮らし。



浜井陽一(はまい・よういち)
43歳。14年間の食品会社勤務から自然豊かな環境で農業をして暮らすことを夢見ていた。体を壊して入院したことをきっかけに、広島近郊の自治体を訪ね歩いた。支援制度が充実していた上、空き家バンク制度がある三次市の三良坂町で古民家が気に入り、2009年より就農。「安全・安心で美味しい野菜をもくもくと食べてもらいたい」という思いから屋号を「もくもく農園」とし、63aの畑で多品目野菜を栽培。販売は野菜セットをメインに個人宅配。妻と子ども4人の6人家族。



山本昭利(やまもと・あきとし)
広島市出身、68歳、創業した企業を30年間経営していたが、会社は息子に譲り、以前より興味があった農業を営むため、2011年より安芸高田市吉田町に定住。その後、有機農業を目指す生産者集団「豆の木」に出会い、その理念「体にやさしい野菜作り」に惚れ、事務局を務めながら新規就農者の自立を支援。若者が農業で生活が出来る経営基盤づくりの中で、安芸高田市における特徴ある農作物の選定、加工、販売等の課題について、安芸高田市や広島市のシニア世代と連携して奮闘し、生産から販売までのしくみの構築を目指している。

有機野菜マルシェ 併催!!

9:00~12:00
広島産業会館本館前テント村・本館2F展示場

【出店予定団体】
【屋外テント村】島根県柿木村有機農業グループ、広島県有機農業研究会、ひろしま合鴨水稲会、MOA自然農法広島県連合会、株式会社オキ
【本館2階展示場】合同会社アグリプロジェクト、株式会社いぢちゃん農園、株式会社オーサン、かごしま有機農業推進協議会、川根柚子協同組合、株式会社ぐりんはーと、こだま食品株式会社、さぬき有機生産組合、サンエッジ株式会社、株式会社純正食品マルシマ、新内農園、有限会社新家青果、大豊グループ協同事業、高見農園、農業生産法人(有)宝箱、TANABE FARM、寺岡有機農場有限公司、テレサファーム、株式会社テレファーム、中原観光農園、はやし なちゆるら ふぁーむ、満月農園、有限会社やさか共同農場、有限会社山口農園、ヤマサン醤油株式会社、有機野菜工房園田農園、よしむら農園、若葉農業合同会社、株式会社よしわ有機農園

アクセスのご案内



広島県立広島産業会館(本館2F)
広島県広島市南区比治山本町12-18

- 市内電車…「南区役所前」下車、徒歩3分
- バス…「皆実町1丁目」下車、徒歩2分
- 自家用車…有料駐車場あり(満車の場合があります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。)

お問い合わせ

☎ **03-3512-5670**
FAX **03-3512-5680**

有機農産物価値理解促進事務局
(株式会社スペースメディアジャパン内)

担当：福永・山田・久保
(又は ☎090-3177-0438 食と農・広島県協議会)